

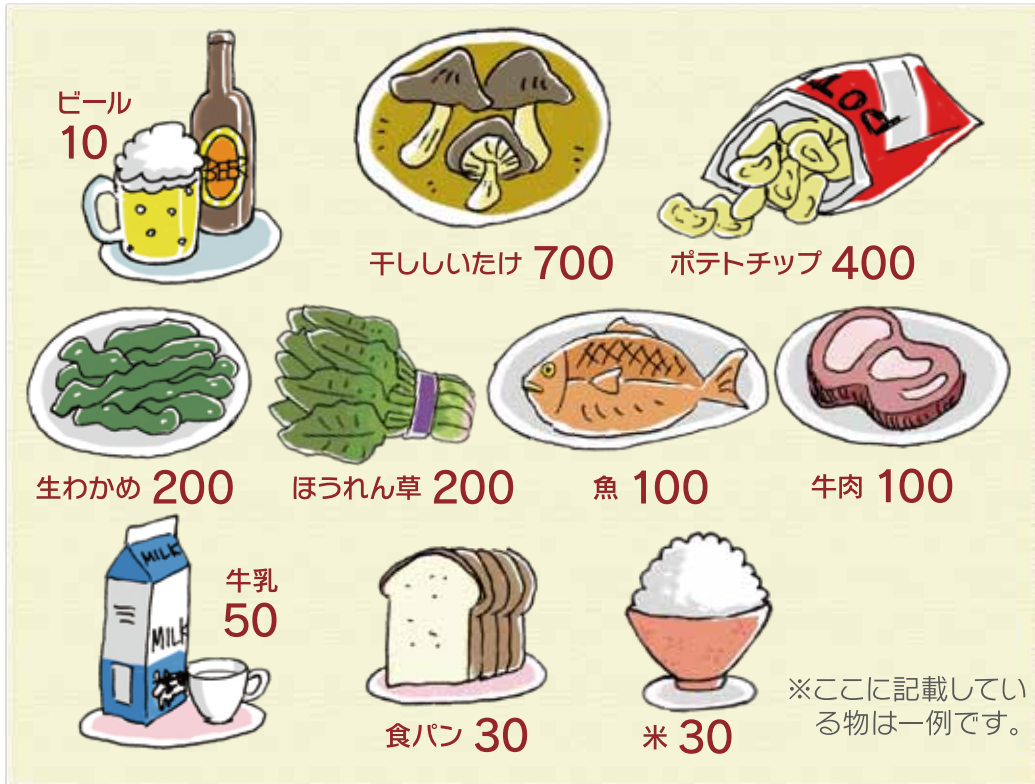


身近にある放射性物質

自然界に存在するカリウムには、カリウム40という放射性物質がごくわずかに含まれています。こうした放射性物質は、飲食により取り込まれますが、一定期間で排せつされ、体内でほぼ一定の割合に保たれています。

食物(1kg)中のカリウム40の放射性物質の量(日本)

(単位:ベクレル/kg)



文部科学省「知っておきたい放射線のこと」から抜粋

体内の放射性物質の量

カリウム40	4000ベクレル
炭素14	2500ベクレル
ルビジウム87	500ベクレル
鉛210・ポロニウム210	20ベクレル

(体重 60kg の日本人の場合)



北九州市独自の安全・安心な方法でがれきを処理します。

安全ながれきしか受け入れません。

受け入れるがれきは、放射性セシウムの濃度が100ベクレル/kg以下のものです。

放射能濃度が100ベクレル/kg以下のがれきは、放射性物質に汚染されたものとして取り扱う必要のないものであり、通常の廃棄物として取り扱うことができます。また、この値は食品の基準値と同じレベルです。

食品中の放射性セシウムの基準値

(単位:ベクレル/kg)

食品群	一般食品	乳児用食品	牛乳	飲料水
基準値	100	50	50	10
参考 コーデックス委員会 (国際機関)の指標値	1000			

厚生労働省及び消費者庁の資料から抜粋

※基準値以内の食事を毎日とっても、特段の措置をとる必要がないと考えられている放射線の量(年間1000マイクロシーベルト)を超えないように設定されています。

※コーデックス委員会とは、世界184カ国と1機関(EU)が加盟する食品規格に関する国際的な政府間機関です。